



六月の牛乳月間にあたり湯崎県知事らを表敬訪問 『乳和食・ミルク酢健康法』で機能性等をPR!!

六月十九日 広島県庁&広島県教育委員会



(県知事を囲んで記念撮影)

ンジした、正面は『愛してミルク?』ロゴを、背後は369(ミルク)のデザインをあしらったTシャツに身を包み、湯崎英彦県知事、平川理恵県教育長、上仲孝昌農林水産局長らを表敬訪問し、牛乳・乳製品の機能性などPR活動にあたりました。

今回の訪問で岩竹重城会長は、「牛乳を料理に使用することで旨味とコクを補い、塩分を減らしておいしく食事できる」と強調し、『乳和食』とミルク酢を使った料理紹介とともに、広島県産の牛乳を通じて広島県の健康寿命の延伸(※)に貢献したい趣旨でメッセージを発信し、著者 小山浩子さん、株式会社「青春出版社」出版の『病気になる体をつくる「ミルク酢」健康法』の本をプレゼントしました。

広島県牛乳普及協会(会長岩竹重城)は、広酪、ひろらく女性グループ連絡協議会、広酪メンバーズクラブの関係者と共に、広島らしくカープ風のアレ

また、この本を県民の皆様にご紹介(先着二十名様)する企画も報道各社に紹介し、応募方法は、広酪のホー

ムページにアクセスしてくださいとメッセージを發しました。

また、砂子委員長(広酪メンバーズクラブ)からは、広島で三十三年振りに七月十九日から二日間で開催される全国酪農青年女性会議発表大会に触れ、「全国各地から酪友が来場される。広島県の魅力をPRする絶好の機会になりますので、協力をお願いします」と要請が行われました。

山延会員(ひろらく女性グループ連絡協議会)は、ミルク酢を作る過程で生まれるカッテージチーズを使用の自家製チーズバーガーを持参され、ミルク酢と共に紹介されました。

知事訪問に先駆けては、上仲孝昌農林水産局長を訪問し、知事訪問後は、今年着任された平川理恵県教育長の訪問では、同協会会員で日本酪農協同株式会社広島工場の吉田秀幸工場長から広島県の学校給食牛乳の定着率拡大と



(山延さんの手造り牛乳料理)

給食料理に牛乳の使用を呼びかけられたのに対して、平川教育長は、「私は個人的にも牛乳大好き人間で毎日飲んでいきます。皆さんの思いに応えて行きたい」と述べられました。

昨今、学校給食牛乳に関しては全国的に風味情報への関心が高まっており、同協会事務局の富井政樹次長が、牛乳風味に関する理解を求めするためパンフレットを手交しました。



普及協会の窓



(熱心に説明を聞かれる平川教育長〈左〉)

私は個人的にも
牛乳大好き人間です

(※)先に厚生労働省が発表した「平成二十七年の都道府県別の平均寿命・健康寿命」の調査からは、広島県女性の健康寿命は七十三・六二歳で全国ランク四十六位と最下位で、同平均寿命は八十七・三三歳の全国十位、一方、男性の健康寿命は七十一・九七歳の二十七位、平均寿命は八十一・八歳の十位との結果が

報じられました。
広島県では、平成三十年三月に平成三十年度から平成三十五年度までの六年間を期間とする「第三次食育推進計画」を策定し、一日の食塩摂取量の減少を日頃の食生活に採り入れ、県民の健康寿命の延伸などに結びつけたいとの方向性が示されています。

【知事訪問等にあたった関係者氏名】

- 広島県牛乳普及協会からの訪問者・岩竹重城会長、吉田秀幸(会員)、土井美代治(会員)、鈴木道弘事務局長、富井政樹事務局次長、岡田百合子(事務局)
- ひろらく女性グループ連絡協議会・市川美智子副委員長、山延伊久江会員
- 広酪メンバーズクラブ・砂子拓也委員長
- 広酪・西中晃参事、名越道弘主任(以上、十一名)



広酪ホルスタイン改良同志会の窓

7月10日 鳥取県東伯郡琴浦町

中国B&W決算報告会 ショウの在り方模索

第33回中国地区B&Wショウの決算報告会が開催され、広酪ホルスタイン改良同志会(会長 檜高侑祐)事務局からは河野洋一技師(経営支援課)が出席し、事業・成績報告並びに収支決算報告の説明を聞き、今後の中国地区B&Wショウの在り方を協議した。

これまで開催地は、各県が持ち回りで担当し開催するも、各県での会場手配や運営に係る要員と出品牛の確保等々、多くの課題が山積する中で事務局負担が増大し、前年度には開催地を岡山県で固定する提案もあったが、再度各県で、今後の方向性や開催時期、前夜祭やオークション等の付帯事業、それに伴う事務局負担等も含めて意見集約を行い、今年10月頃に協議の場

を持つこととした。

広酪ホルスタイン改良同志会では、8月10日(金)に役員会を開催し、「ひろらくB&Wショウ」の開催要領も含めて協議した。

